



# らっと! introduction

## 三重ドリームクラブ 出会いから広がる 活動の輪

市外のイベントでは、自分たちの活動以外にも津のまちのいろいろな取り組みをPRしているという加藤さん



津市の一大イベント津まつりで、ひときわ目を引く高虎時代絵巻の列。その運営を担うのが三重ドリームクラブの皆さんです。手作り甲冑教室の開催や、かぶとをかぶった愛らしい虎のキャラクター「藤堂とらまる」による津のまちのPRなど、さまざまなイベントで地域を盛り上げています。今は、新たに結成する「安濃津戦国武将隊」のお披露目イベントを間近に控え、準備に奔走しています。

三重ドリームクラブが活動を始めたのは平成14年のこと。代表理事を務める加藤久さんをはじめとしたメンバーで、地域に密着した社会貢献がし

たいとの思いでNPO法人を立ち上げました。市内外のイベントの支援や出演など、年間50日近く活動しています。

最初は津まつりでの会場清掃や和船山車の運行の手伝いなどから始まり、そこで知り合った実行委員の一人に「高虎時代絵巻を運営してみないか」と勧められたのをきっかけに、準備から進行までを引き受けることに。それが歴史を通じて津のまちをPRする活動のきっかけになったといいます。

その後、時代絵巻の出演者の一人から、衣装として借りている甲冑を紙などを使って自分たちで手作りできることを聞き、先進地の滋賀県彦根市まで学びに行った加藤さんたち。手作りの楽しさと完成度の高さ、他のイベントにも活用できる利点に「これだ」と感じ、手作り甲冑教室を毎年開催するようになりました。他にも時代絵巻を応援するキャラクター藤堂とらまるを出演者の知人に有志でデザインしてもらったりと、活動の中で出会ういろいろな人とのつながりから活動の輪が広がってい



安濃津戦国武将隊結成のため募った新メンバーを迎え、演出について熱く議論

たといいます。「今後は、他の市民活動団体や地元商店街の皆さんとコラボレーションして新しい活動もしていきたい」と意気込む加藤さん。今後の展開が楽しみです。

安濃津戦国武将隊のデビューは3月3日(土) だいたてアーケードで開催される「津・大門のおひなさん」でお披露目されます。織田信長の弟、信包や藤堂高虎など、津市にゆかりの武将たちが登場し、パフォーマンスなどを繰り広げます。戦乱の世を生き抜いた武将たちに負けない勢いのある三重ドリームクラブの活躍が見られるかも知れません。

三重ドリームクラブについてのお問い合わせは (☎271-9978)へ

半年以上かけて作られた手作りの甲冑を着て闊歩する高虎時代絵巻は、本物さながらの迫力

